

海外派遣学生が帰国報告

8/26

**姉** 妹都市の米国サンカルロス市とポルトガル共和国シトラ市で、約2週間のホームステイを終えて帰国した市内の中学・高校生が市役所を訪問しました。生徒たちは、異国での貴重な体験を松本市長に報告。「この経験を今後の生活や将来の夢に生かしていきたい。」と語ってくれました。



←楽しかったことや困ったことなどが報告されました

異国での貴重な体験を報告

「ボートレースチケットショップ長崎佐々」オープン

8/23

**ボ**ートレース大村の場外発売場「ボートレースチケットショップ長崎佐々」が、北松浦郡佐々町にオープンしました。11番目となるこの場外発売場では、ボートレース大村の全レースをはじめ、SG・GI競走などの舟券を年間最大360日発売し、1日あたり500人の入場者と500万円の売り上げを目標にしています。



←オープンを祝ってテープカットを行いました

県北に場外舟券発売場を新設

「三浦地区ふれあい館」開所式

8/27

**住**民ボランティアが運営するミニ・デイサービス「三浦地区ふれあい館」の開所式が、三浦かんさく会館で行われました。これは、高齢者が集まり、健康体操やレクリエーションなどで自主的に介護予防を促進するもので、創設は県内初です。今後、市内5か所に順次整備する予定です。



←式後、出席者みんなで健康体操を体験しました

県内初の地域型ミニ・デイサービスが開始

高齢者の見守りに関する協定締結式

8/26

**地**域で高齢者の見守り体制を強化するため、市は長崎ヤクルと「高齢者の見守りに関する協定」を締結しました。配達員が高齢者の生活状態の異変に気づいた場合、市に連絡し早期対応につなげます。なお、この協定の締結は、今回で4団体目となりました。



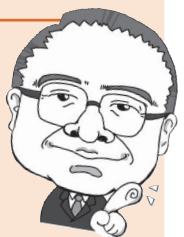
←松本市長と山下社長が協定書を交わしました

見守り体制をさらに強化

このような状況から、農業の恵みを子や孫たちへ引き継ぐために、さまざまな取り組みを始めています。特に、農業を支える担い手の育成・確保を図るため、市独自で「農業経営チャレンジ支援事業」を開始。これは、就農当初の機械設備の購入費や農地の賃借料の助成、低利融資など、新規就農者や意欲ある農業者の皆さんを応援する制度です。

また、農業者が、生産だけでなく農産物の加工から流通、販売まで関わる6次産業化を進めることで、経営の安定や雇用創出につながると期待しています。市内の各直売所でも取り組んでいますので、皆さんもぜひお立ち寄りください。

今年度は、地産地消をPRするため、好評の「牧場まつり」を11月1日に、また、大村の旬な農水産物などを堂に集めた「おおむら海と大地の感謝祭」を11月29日に開催します。これらのイベントに、多くの市民の皆さんも参加していただき、大村の「がんばっている農業」を身近に感じてみてください。そして、これからも大村の農業を守っていきましょう。



がんばっている大村の農業を応援します

市長コラム vol.46